



# 労働者の健康の状況 (令和5年版)

長野労働局労働基準部

健康安全課

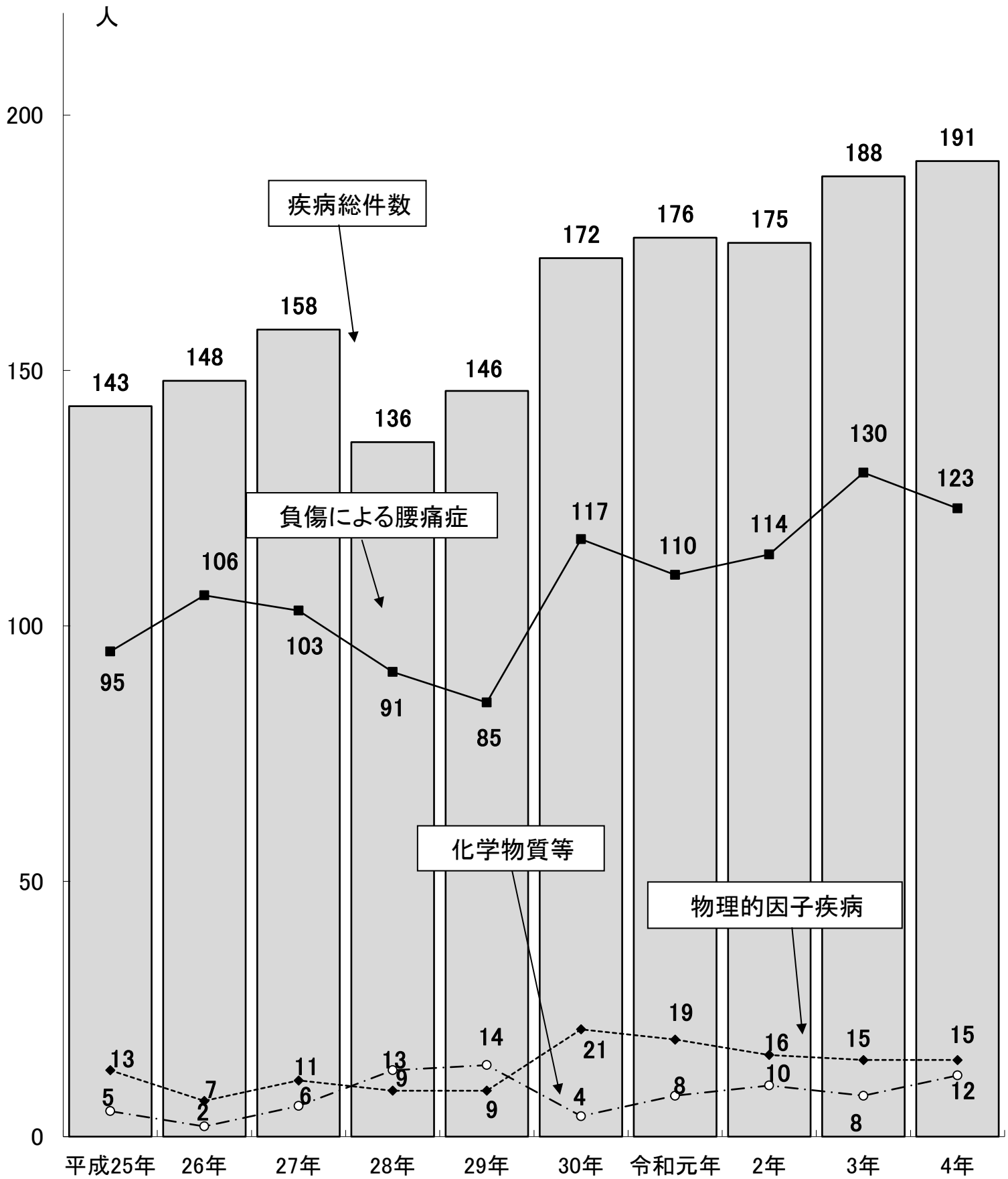
# 目 次

第1図	業務上疾病の推移（過去10年間）	1
第1表	産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移	2
第2表	業務上疾病発生状況（令和4年）	3
第2図	健康診断結果（有所見率）の推移	4
第3表	一般定期健康診断実施結果（令和3年・令和4年）	5
第4表－1	令和4年一般定期健康診断項目別有所見率（その1）	6
第4表－2	令和4年一般定期健康診断項目別有所見率（その2）	7
第5表	特殊健康診断実施状況の推移（過去30年間）	8
第6表－1	特殊健康診断実施結果（令和4年）（その1）	9
第6表－2	特殊健康診断実施結果（令和4年）（その2）	10
第7表	健康管理手帳（労働安全衛生法関係）新規交付状況	10
第8表	じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移	11
第9表	じん肺（要治療）の労災補償状況の推移	12
第10表	振動障害の労災補償状況の推移	12
第11表	最近の自殺者数の推移	13
第12表	脳・心臓疾患の労災補償状況の推移	13
第13表	精神障害の労災補償状況の推移	13
第14表	石綿関連疾患の労災補償状況の推移	13
第15表	令和4年心理的な負担の程度を把握するための検査 （いわゆるストレスチェック）実施状況	14
第16表・第3図	長野県におけるストレスチェック 集団分析実施事業場割合の推移	14
第17表	令和4年工業中毒等特殊疾病事例	15
第18表・第4図	長野県の熱中症による労働災害発生状況	16

※ 第2図及び第3表から第6表までは、事業者から所轄の労働基準監督署に提出された健康診断結果報告書を集計したもの（厚生労働省確定値の内数）。

第1図

業務上疾病の推移(過去10年間)



(注) 資料出所や定義等の注釈は第2表参照。

第1表

産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移

年		平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	
産 業 別	総 数	① 145	① 143	① 148	② 158	② 136	② 146	① 172	③ 176	① 175	188	② 191	
	製 造 業	① 39	33	31	① 47	34	① 42	45	38	61	48	47	
	鉱 業	1	1	1	1	2			1				
	建 設 業	17	① 14	16	13	16	13	9	8	8	18	① 20	
	運 輸 交 通 業	6	6	① 9	① 11	7	① 11	18	7	17	22	16	
そ の 他 の 産 業		82	89	91	86	② 77	80	① 100	③ 122	① 89	100	① 108	
疾 病 分 類 別	負傷に起因する疾病数 ( )内は腰痛で内数		(104) 115	(95) 112	(106) 126	(103) 119	(91) 104	(85) 111	(117) 135	(110) 123	(114) 128	(130) 161	(123) 153
	物理的因子による疾病 ( )内は熱中症で内数		(8) 11	(9) ① 13	(4) 7	(5) ① 11	(7) 9	(2) 9	(19) ① 21	(12) ① 19	(10) 16	(9) 15	(11) ① 15
	身 体 に 過 度 の 負 担 の 起 因 す る 疾 病	重激業務による 筋肉等の疾患 (腰痛を除く)							1				1
		振 動 障 害										1	
		頸 肩 腕 症 候 群	4	1	5	1	1	3	4	5	4	1	3
		そ の 他	1	1		3			1	3	1		3
		計	5	2	5	4	1	3	6	8	5	2	7
	酸 素 欠 乏 症												
	化 学 物 質 等 に よ る 疾 病	化 学 物 質	特定化学物質	① 3	1		2	1	3		1		5
			有 機 溶 剤	1	2	1		① 2	2	1		1	
上 記 以 外				2		1	6	6	3	8	7	5	7
硫 化 水 素 中 毒								1			1		
一 酸 化 炭 素 中 毒		1		1	3	4	① 2				2		
そ の 他										1			
計		5	5	2	6	① 13	① 14	4	8	10	8	12	
じん肺症及びじん肺合併症		7	4	3	4	5	4	4	2	1	1	2	
病 原 体 に よ る 疾 病		1	7	2	13	1	2	1	9	12	1	1	
そ の 他		1		① 3	① 1	① 3	① 3	1	① 7	① 3		1	

(注) 丸数字は死亡者数で内数である。

第2表

業務上疾病発生状況（令和4年）

業種	疾病分類	負傷に起因する疾病	物理的因子による疾病						作業態様に起因する疾病						がん			合計	構成比	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年			
			有害光線による疾病	電離放射線による疾病	異常気圧下における疾病	異常温度条件による疾病	騒音による耳の疾病 (左記のうち熱中症 数)	その他	重激業務による筋肉等の疾患 (腰痛を除く)	振動障害	頸肩腕症候群	その他	酸素欠乏症	化学物質等による疾病 (硫化水素・一酸化炭素中毒含む)	じん肺症及びじん肺合併症	病原体による疾病	電離放射線							化学物質	その他	その他の疾病
製造業	食料品製造業	6 (6)							1			3							10	5.2%	12	29	14	12		
	繊維・繊維製品製造業					1													1	0.5%						
	木材・木製品家具・装備品製造業	2 (1)																	2	1.0%	1	1		1		
	パルプ・紙紙加工品印刷・製本業	1 (1)																	1	0.5%	1	1	1	1		
	化学工業	3 (2)					1												4	2.1%	2	1	1	2		
	窯業土石製品製造業																				3	1	1	2		
	鉄鋼・非鉄金属製造業	1 (1)								1									2	1.0%	2	2	3	3		
	金属製品製造業	7 (5)										5							12	6.3%	7	7	5	5		
	一般・電気・輸送用機械工業	11 (9)				1				1		1	1						15	7.9%	18	16	12	15		
	電気・ガス・水道業																				1					
その他の製造業																				1	3	1	4			
小計	31 (25)				1	2			2	1	9	1						47	24.6%	48	61	38	45			
鉱業																							1			
建設業	① 12 (3)				3	3	1				2	1						20	10.5%	18	8	8	9			
運輸交通業	14 (12)				2	2												16	8.4%	22	17	7	18			
うち道路貨物運送業	11 (10)				2	2												13	6.8%	18	13	6	12			
貨物取扱業																							1			
農林水産業	3 (1)																	3	1.6%	3	2	5	4			
商業・金融・広告業	33 (29)				① 2	① 2				1	1						1	38	19.9%	36	① 37	① 34	① 29			
保健衛生業	40 (36)				1	1				1			1					43	22.5%	38	33	① 47	43			
接客娯楽業	12 (11)																	12	6.3%	12	10	22	10			
清掃・と畜業	4 (3)				2	2												6	3.1%	7	2	7	4			
その他の事業	4 (3)				1	1					1							6	3.1%	4	5	① 6	10			
合計	① 153 (123)				① 12	① 11	3		3	3	12	2	1				1	② 191	100.0%	188	① 175	③ 176	① 172			
令和3年	161 (130)				14	9	1		1	1	8	1	1					188								
令和2年	128 (114)				16	10				4	1	10	1	12			① 3	① 175								
令和元年	① 123 (110)				① 18	① 12		1		5	3	8	2	9			① 7	③ 176								
平成30年	135 (117)				① 21	① 19			1	4	1	4	4	1			1	① 172								

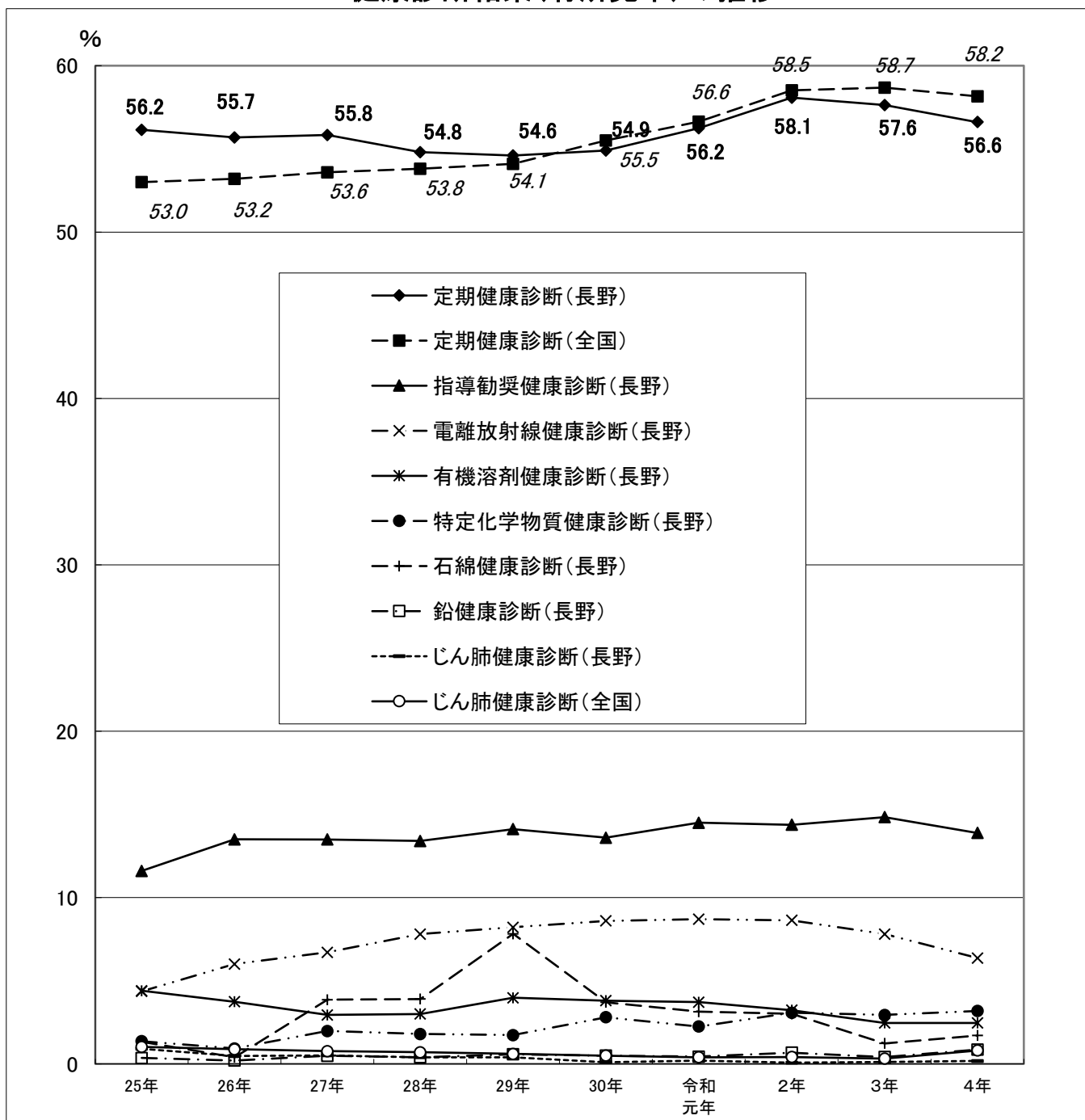
資料:労働者死傷病報告(休業4日以上の死傷。厚生労働省集計確定値の内数(各翌年4月集計))。ただし、「じん肺症及びじん肺合併症」を除く。

(注) 1 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。  
 2 丸数字は死亡者数で内数である。  
 3 「負傷に起因する疾病」欄内のカッコ書き数字は腰痛件数で内数である。

4 「がん」の「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。  
 5 「じん肺及びじん肺合併症」は長野労働局長が、じん肺管理区分が管理4、又は、管理2若しくは管理3で合併症あり、と決定した者の数である(決定した年に計上)。  
 6 令和2年及び令和3年の被災者数には新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。

第2図

健康診断結果(有所見率)の推移



健康診断種別	年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
定期健康診断(長野)		56.2	55.7	55.8	54.8	54.6	54.9	56.2	58.1	57.6	56.6
定期健康診断(全国)		53.0	53.2	53.6	53.8	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7	58.2
有機溶剤健康診断(長野)		4.4	3.7	2.9	3.0	4.0	3.8	3.7	3.2	2.5	2.5
鉛健康診断(長野)		0.4	0.2	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.7	0.4	0.9
電離放射線健康診断(長野)		4.4	6.0	6.7	7.8	8.2	8.6	8.7	8.6	7.8	6.4
除染等電離放射線健康診断(長野)		0.0	—	23.5	—	—	—	—	0.0	—	—
特定化学物質健康診断(長野)		1.4	0.9	2.0	1.8	1.7	2.8	2.3	3.1	2.9	3.2
石綿健康診断(長野)		1.3	0.4	3.9	3.9	7.8	3.7	3.1	3.0	1.2	1.7
指導勸奨健康診断(長野)		11.6	13.5	13.5	13.4	14.1	13.6	14.5	14.4	14.8	13.9
じん肺健康診断(長野)		0.9	0.5	0.5	0.4	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
じん肺健康診断(全国)		1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.8

注: 除染等電離放射線健康診断結果の折れ線グラフは作成していない。

第3表

## 一般定期健康診断実施結果(令和3年・令和4年)

区分 業種	実施事業場数		受診者数 (人) (A)		有所見者数 (人) (B)		有所見率 (%) (B/A×100)	
	3年	4年	3年	4年	3年	4年	3年	4年
01 製造業								
食品製造	127	164	11,969	13,996	6,807	7,585	56.9	54.2
繊維工業	1	2	82	111	50	50	61.0	45.0
衣服繊維	5	4	422	270	258	193	61.1	71.5
木材木製	6	6	452	433	289	264	63.9	61.0
家具装備	3	4	227	227	160	161	70.5	70.9
パルプ等	8	17	733	1,137	420	653	57.3	57.4
印刷製本	19	23	1,266	1,390	765	831	60.4	59.8
化学工業	68	87	4,639	4,450	2,579	2,331	55.6	52.4
窯業土石	17	15	1,513	1,408	956	938	63.2	66.6
鉄鋼業	1	2	234	337	208	164	88.9	48.7
非鉄金属	13	19	1,164	1,187	645	631	55.4	53.2
金属製品	94	135	6,796	7,756	3,914	4,335	57.6	55.9
一般機器	180	202	26,521	28,546	15,480	16,550	58.4	58.0
電気機器	237	328	35,659	38,161	20,499	21,357	57.5	56.0
輸送機械	65	102	8,403	9,428	5,055	5,370	60.2	57.0
電気ガス	19	18	1,444	1,379	1,060	1,029	73.4	74.6
他の製造	30	39	1,595	1,560	958	993	60.1	63.7
小計	893	1,167	103,119	111,776	60,103	63,435	58.3	56.8
02 鉱業								
土石採取	1	1	8	7	7	5	87.5	71.4
03 建設業								
土木工事	17	20	1,346	1,480	942	1,000	70.0	67.6
建築工事	30	34	2,705	2,991	1,590	1,823	58.8	60.9
他の建設	17	17	1,165	1,055	758	720	65.1	68.2
小計	64	71	5,216	5,526	3,290	3,543	63.1	64.1
04 運輸交通								
鉄道等	20	30	1,258	1,901	516	570	41.0	30.0
道路旅客	26	33	1,748	1,654	1,090	1,016	62.4	61.4
道路貨物	82	125	5,570	6,451	3,060	3,291	54.9	51.0
他の運輸	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小計	128	188	8,576	10,006	4,666	4,877	54.4	48.7
05 貨物取扱								
陸上貨物	4	3	238	168	173	126	72.7	75.0
01～05 中計	1,090	1,430	117,157	127,483	68,239	71,986	58.2	56.5
06～17 農林業ほか								
中計	964	1,176	70,158	76,207	39,708	43,326	56.6	56.9
01～17 合計	2,054	2,606	187,315	203,690	107,947	115,312	57.6	56.6
全 国	119,402	145,791	12,918,763	13,237,013	7,580,352	7,697,689	58.7	58.2

(注) 「所見のあった者」は、労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く。)の人数である。

第4表-1

令和4年 一般定期健康診断項目別有所見率(その1)

業種	健診実施 事業場数	受診者数	聴力(1,000Hz)		聴力(4,000Hz)		聴力(その他)		胸部X線検査		喀痰検査		血圧		貧血検査		
			実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	
製 造 業	食品製造	164	13,996	3,067	3.7	3,067	6.8	442	0.9	2,446	3.2	50	0.0	3,550	17.3	2,982	8.1
	繊維工業	2	111	0	0.0	0	0.0	33	0.0	0	0.0	0	0.0	33	12.1	0	0.0
	衣服繊維	4	270	67	1.5	67	3.0	0	0.0	67	1.5	1	0.0	67	22.4	67	14.9
	木材製	6	433	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	家具装	4	227	109	6.4	109	14.7	0	0.0	109	11.0	0	0.0	109	24.8	109	5.5
	パルプ等	17	1,137	288	2.8	288	9.4	83	0.0	289	3.1	0	0.0	372	15.1	232	4.3
	印刷製本	23	1,390	366	5.2	366	6.6	70	0.0	368	6.3	0	0.0	472	22.0	404	8.9
	化学工業	87	4,450	1,588	2.8	1,588	6.5	210	0.0	1,615	3.5	0	0.0	1,867	19.0	1,674	7.0
	窯業土石	15	1,408	93	3.2	93	33.3	81	0.0	86	1.2	0	0.0	318	17.0	273	1.8
	鉄鋼業	2	337	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	非鉄金属	19	1,187	157	3.2	157	17.2	100	0.0	135	1.5	0	0.0	256	23.8	156	5.8
	金属製品	135	7,756	2,160	3.3	2,160	8.8	391	0.0	2,040	5.0	1	100.0	2,552	19.2	2,172	7.7
	一般機器	202	28,546	8,170	2.9	8,171	7.2	1,460	0.3	8,518	4.6	0	0.0	9,657	17.9	8,576	9.1
	電気機器	328	38,161	13,318	2.9	13,424	5.8	2,631	0.1	13,803	2.1	57	0.0	15,704	18.7	13,861	6.5
	輸送機械	102	9,428	3,377	3.1	3,377	9.5	134	0.0	2,357	4.2	0	0.0	3,512	14.9	3,300	5.7
	電気力入	18	1,379	13	0.0	13	0.0	0	0.0	13	0.0	0	0.0	13	0.0	13	23.1
他の製造	39	1,560	625	6.9	625	8.8	36	0.0	509	8.4	0	0.0	661	26.3	597	8.9	
小計	1,167	111,776	33,398	3.1	33,505	7.1	5,671	0.2	32,355	3.4	109	0.9	39,143	18.3	34,416	7.3	
鉱業	1	7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
建 設 業	土木工事	20	1,480	601	5.8	601	16.8	0	0.0	561	7.5	0	0.0	601	19.1	601	2.2
	建築工事	34	2,991	996	3.8	996	10.3	139	0.0	1,010	3.5	188	0.0	1,012	17.9	997	5.2
	他の建設	17	1,055	600	1.5	600	4.8	107	0.0	586	4.1	0	0.0	607	13.5	607	4.4
	小計	71	5,526	2,197	3.7	2,197	10.6	246	0.0	2,157	4.7	188	0.0	2,220	17.0	2,205	4.2
運 輸 交 通 業	鉄道等	30	1,901	906	1.1	906	1.3	101	0.0	674	3.1	0	0.0	1,010	13.9	505	4.8
	道路旅客	33	1,654	526	7.4	526	14.8	84	0.0	319	5.3	0	0.0	606	23.6	385	10.6
	道路貨物	125	6,451	1,236	4.6	1,236	10.4	126	0.0	953	3.6	0	0.0	1,410	21.8	1,155	5.8
	他の運輸	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小計	188	10,006	2,668	4.0	2,668	8.2	311	0.0	1,946	3.7	0	0.0	3,026	19.5	2,045	6.5	
陸上貨物	3	168	14	0.0	14	0.0	0	0.0	14	7.1	0	0.0	14	14.3	14	0.0	
そ の 他 の 業 種 ( 林 業 含 む )	農林業	6	333	96	3.1	115	3.5	0	0.0	94	5.3	0	0.0	115	13.0	95	15.8
	畜産水産	1	59	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	商業	406	17,653	6,545	5.2	6,545	6.1	811	0.4	6,877	2.0	209	0.0	7,074	20.5	6,549	8.8
	金融広告	43	6,557	3,024	4.6	3,024	4.8	949	0.3	3,730	6.8	2	50.0	4,052	15.3	4,012	9.6
	映画演劇	1	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	通信業	32	3,741	2,602	6.5	2,602	8.6	466	0.0	2,675	5.2	0	0.0	3,063	18.6	2,607	6.1
	教育研究	33	2,579	622	2.7	622	5.6	42	0.0	607	3.6	48	0.0	622	21.4	603	7.5
	保健衛生	315	24,517	5,087	3.7	5,028	5.1	939	0.7	5,152	4.0	57	1.8	6,910	14.7	6,271	8.4
	接客娯楽	138	5,102	1,779	3.8	1,779	6.4	18	0.0	1,648	6.4	0	0.0	1,797	16.8	1,634	10.8
	清掃と畜	43	2,123	983	6.3	983	10.5	60	0.0	983	6.7	0	0.0	995	21.8	990	9.7
	官公署	4	402	2	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	2	0.0
	他の事業	154	13,132	6,017	3.3	6,089	7.1	918	0.2	6,638	6.9	197	0.0	7,113	16.6	6,754	7.5
小計	1,176	76,207	26,757	4.4	26,789	6.4	4,203	0.4	28,404	4.9	513	0.4	31,743	17.3	29,517	8.4	
合計	2,606	203,690	65,034	3.7	65,173	6.9	10,431	0.3	64,876	4.1	810	0.4	76,146	17.9	68,197	7.7	

単位: 受診者数・実施者数(人)、有所見率(%)



第4表-2

令和4年 一般定期健康診断項目別有所見率(その2)

業種	肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		尿検査(糖)		尿検査(蛋白)		心電図検査		有所見者		歯科検診		
	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	人数	有所見率	実施者数	有所見率	
製造業	食品製造	2,992	14.3	2,992	29.0	2,991	10.1	3,511	3.8	3,511	3.0	2,749	9.9	7,585	54.2	20	0.0
	繊維工業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	33	0.0	33	0.0	0	0.0	50	45.0	0	0.0
	衣服繊維	67	7.5	67	55.2	67	4.5	67	3.0	67	1.5	67	3.0	193	71.5	0	0.0
	木材製	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	264	61.0	0	0.0
	家具装	109	8.3	109	34.9	109	15.6	109	2.8	109	2.8	109	9.2	161	70.9	0	0.0
	パルプ等	232	20.3	232	29.7	232	6.9	368	2.4	368	2.4	232	8.2	653	57.4	48	50.0
	印刷製本	404	17.1	404	39.9	404	22.8	469	2.6	469	2.8	368	9.2	831	59.8	0	0.0
	化学工業	1,674	14.0	1,674	26.8	1,666	10.0	1,834	2.8	1,844	2.1	1,589	9.3	2,331	52.4	13	0.0
	窯業土石	273	29.7	273	41.0	273	12.8	318	3.5	318	1.6	94	8.5	938	66.6	22	0.0
	鉄鋼業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	164	48.7	0	0.0
	非鉄金属	156	17.9	156	37.8	156	13.5	253	5.9	253	2.8	157	9.6	631	53.2	21	0.0
	金属製品	2,175	17.2	2,177	31.1	2,177	11.6	2,523	2.8	2,523	2.9	2,126	8.6	4,335	55.9	251	22.7
	一般機器	8,592	15.6	8,587	31.3	8,587	12.4	9,575	3.1	9,575	2.4	8,187	8.2	16,550	58.0	122	0.0
	電気機器	13,910	17.4	13,909	32.6	13,905	13.1	15,535	3.4	15,535	3.0	13,324	9.1	21,357	56.0	1,577	4.0
輸送機械	3,272	13.9	3,273	23.9	3,291	9.4	3,495	2.6	3,495	1.5	3,224	6.6	5,370	57.0	20	0.0	
電気力入	13	0.0	13	7.7	13	0.0	13	0.0	13	23.1	13	15.4	1,029	74.6	0	0.0	
他の製造	656	15.2	658	30.4	658	14.1	657	4.1	657	2.3	639	10.6	993	63.7	22	0.0	
小計	34,525	16.2	34,524	30.9	34,529	12.2	38,760	3.2	38,770	2.6	32,878	8.7	63,435	56.8	2,116	6.8	
鉱業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	71.4	0	0.0	
建設業	土木工事	601	15.1	601	26.6	601	15.8	601	3.8	601	1.3	600	7.0	1,000	67.6	0	0.0
	建築工事	1,012	20.1	1,012	29.0	1,012	12.5	1,010	3.0	1,010	1.8	996	9.3	1,823	60.9	0	0.0
	他の建設	607	18.9	607	31.3	586	13.5	606	4.6	606	3.1	586	12.5	720	68.2	0	0.0
	小計	2,220	18.4	2,220	29.0	2,199	13.6	2,217	3.7	2,217	2.0	2,182	9.5	3,543	64.1	0	0.0
運輸交通業	鉄道等	505	11.5	505	28.3	505	8.1	1,009	2.7	1,010	3.0	726	5.0	570	30.0	0	0.0
	道路旅客	385	22.3	385	35.8	385	21.6	603	6.6	603	6.6	502	14.7	1,016	61.4	0	0.0
	道路貨物	1,226	12.6	1,203	29.9	1,203	9.3	1,392	4.7	1,392	2.7	1,140	8.9	3,291	51.0	0	0.0
	他の運輸	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	2,116	14.1	2,093	30.6	2,093	11.3	3,004	4.4	3,005	3.6	2,368	8.9	4,877	48.7	0	0.0
陸上貨物	14	35.7	14	35.7	14	28.6	14	0.0	14	0.0	14	7.1	126	75.0	0	0.0	
その他の業種(林業含む)	農林業	96	15.6	96	24.0	96	7.3	115	3.5	115	2.6	96	12.5	206	61.9	0	0.0
	畜産水産	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	35	59.3	0	0.0
	商業	6,646	11.0	6,646	23.1	6,645	10.9	7,021	3.3	7,021	1.7	6,258	9.2	10,367	58.7	8	0.0
	金融広告	4,012	11.2	4,012	30.5	4,012	14.5	4,018	1.9	4,018	2.6	3,389	14.7	3,549	54.1	0	0.0
	映画演劇	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	66.7	0	0.0
	通信業	2,607	18.7	2,607	37.4	2,607	14.7	3,056	3.2	3,056	6.9	2,598	14.4	2,286	61.1	0	0.0
	教育研究	603	16.4	603	34.5	603	19.2	619	3.2	619	3.4	599	10.0	1,655	64.2	0	0.0
	保健衛生	6,140	13.0	6,128	27.1	6,009	9.9	6,744	2.6	6,792	4.9	4,427	9.1	13,020	53.1	7	0.0
	接客娯楽	1,639	13.8	1,638	31.2	1,638	10.0	1,784	3.1	1,784	3.4	1,543	10.0	2,972	58.3	0	0.0
	清掃と畜	991	17.8	988	32.8	991	15.7	991	3.9	991	4.5	990	11.7	1,455	68.5	0	0.0
	官公署	2	0.0	2	0.0	2	0.0	2	0.0	2	0.0	2	0.0	206	51.2	0	0.0
	他の事業	6,789	14.8	6,791	26.9	6,759	13.9	7,059	4.0	7,057	3.9	6,634	8.2	7,569	57.6	1	0.0
	小計	29,525	13.5	29,511	28.1	29,362	12.5	31,409	3.1	31,455	3.7	26,536	10.3	43,326	56.9	16	0.0
合計	68,400	15.1	68,362	29.6	68,197	12.3	75,404	3.3	75,461	3.1	63,978	9.4	115,312	56.6	2,132	6.8	

単位:実施者数(人)、有所見率(%)

第5表

## 特殊健康診断実施状況の推移(過去30年間)

区分 年	実施事業場数	受診労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
平成5	2,615	39,124	972	2.48
6	2,607	36,708	1,321	3.60
7	2,421	33,633	1,452	4.32
8	2,490	35,063	1,673	4.77
9	2,519	35,121	1,426	4.06
10	2,567	35,181	1,748	4.97
11	2,526	35,418	1,780	5.03
12	2,477	36,413	2,564	7.04
13	2,399	35,066	2,423	6.91
14	2,274	32,051	1,580	6.91
15	2,317	32,584	1,568	4.81
16	2,291	31,041	1,691	4.81
17	2,288	30,298	1,579	5.45
18	2,280	31,757	1,689	5.21
19	2,119	32,293	1,747	5.32
20	2,201	35,918	2,110	5.87
21	2,053	29,501	1,691	5.73
22	2,169	32,110	1,898	5.91
23	2,207	31,890	1,801	5.65
24	2,205	32,515	1,971	6.06
25	2,360	33,572	1,824	5.43
26	2,751	37,840	2,074	5.48
27	3,151	41,740	2,187	5.24
28	3,322	43,812	2,209	5.04
29	3,343	42,892	2,392	5.58
30	3,488	45,938	2,673	5.82
令和元年	3,494	45,280	2,628	5.80
2	3,469	46,924	2,767	5.90
3	3,716	47,748	2,709	5.67
4	3,842	49,034	2,645	5.39

(注)資料:特殊健康診断実施状況報告

第6表-1

特殊健康診断実施結果(令和4年)(その1)

1 法定の健康診断

対象作業	区分	実 施 場 数	受 診 者 数 (A) (人)	有 所 見 者 数 (B) (人)	有 所 見 率 (B/A×100) (%)
有 機 溶 剤		1,073	14,497	356	2.46
	鉛	154	1,748	15	0.86
電 離 放 射 線		141	2,326	148	6.36
除 染 等 電 離 放 射 線		0	0	0	
	ベンゼン	1	1	0	0.00
	ベンゼン含有ゴムのり	1	1	0	0.00
	塩素化ビフェニル	3	18	0	0.00
	アクリルアミド	2	4	0	0.00
	アクリロニトリル	1	9	1	11.11
	塩化ビニル	1	7	0	0.00
	塩素	13	92	4	4.35
	カドミウム	9	20	2	10.00
	クロム酸	66	543	9	1.66
	クロロメチルメチルエーテル	0	0	0	
	五酸化バナジウム	2	2	0	0.00
	コーラル	19	516	4	0.78
	シアン化カリウム	43	1,168	10	0.86
	シアン化水素	7	72	0	0.00
	シアン化ナトリウム	33	611	1	0.16
	3・3'-ジクロロ-4・4'-ジアミノジフェニルメタン	6	27	10	37.04
	重クロム酸	3	12	0	0.00
	水銀	6	24	0	0.00
	トリレンジイソシアネート	5	55	2	3.64
	ニッケルカルボニル	2	66	0	0.00
	ニトログリコール	1	5	0	0.00
	弗化水素	57	744	2	0.27
	ベンゼン	8	31	2	6.45
	ペンタクロルフェノール	0	0	0	
	マンガニン	96	1,609	10	0.62
	沃化メチル	1	2	0	0.00
	硫酸水素	11	171	1	0.58
	硫酸ジメチル	1	9	2	22.22
	ニッケル化合物	54	874	10	1.14
	砒素	6	98	0	0.00
	酸化プロピレン	1	1	0	0.00
	1・1-ジメチルヒドラジン	0	0	0	
	インジウム化合物	10	40	0	0.00
	エチルベンゼン	424	3,481	55	1.58
	コバルト及びその無機化合物	113	1,855	21	1.13
	1・2-ジクロロプロパン	1	8	0	0.00
	クロロホルム	27	127	15	11.81
	四塩化炭素	3	18	0	0.00
	1・4-ジオキサン	7	85	12	14.12
	1・2-ジクロロエタン	9	46	11	23.91
	ジクロロメタン	111	1,103	152	13.78
	ジメチル-2・2-ジクロロビニルホスフェイト	1	4	0	0.00
	スチレン	101	506	79	15.61
	1・1・2・2-テトラクロロエタン	1	6	2	33.33
	テトラクロロエチレン	13	36	9	25.00
	トリクロロエチレン	67	309	51	16.50
	メチルイソブチルケトン	224	1,541	58	3.76
	ナフタレン	45	513	21	4.09
	リフラクトリーセラミックファイバー	18	424	2	0.47
	オルト-トルイジン	0	0	0	
	三酸化ニアンチモン	14	102	6	5.88
	溶接ヒューム	325	2,457	55	2.24
小	計	1,973	19,453	619	3.18
石	綿業	14	175	3	1.71
高	気圧作業	0	0	0	
合	計	3,355	38,199	1,141	2.99

第6表-2

特殊健康診断実施結果(令和4年)(その2)

2 指導勸奨による健康診断

区分 対象作業	実 施 場 数	受 診 者 数 (A) (人)	有 所 見 者 数 (B) (人)	有 所 見 率 (A/B×100) (%)	
紫 外 線 ・ 赤 外 線	114	1,539	35	2.27	
騒 音	219	6,579	1,068	16.23	
マンガン等(塩基性酸化マンガンに限る)	2	71	0	0.00	
有 機 剤	1	41	0	0.00	
亜 硫 酸 ガ ス	2	7	1	14.29	
二 硫 化 炭 素(有機則適用以外のものに限る。)	0	0	0		
ベンゼンのニトロアミド化合物	1	3	0	0.00	
砒 素 ( 特 化 則 適 用 以 外 )	1	12	0	0.00	
超 音 波 溶 着 機	7	39	4	10.26	
メチレンジフェニルイソシアネート	3	38	1	2.63	
フ ェ ザ ー ミ ル 等	1	14	1	7.14	
都 市 ガ ス 配 管 工 事	1	1	0	0.00	
チ ェ ー ン ソ ー	24	368	58	15.76	
チ ェ ー ン ソ ー 以 外 の 振 動 工 具	18	311	70	22.51	
重 量 物	7	199	91	45.73	
引 金 付 工 具	4	48	0	0.00	
V D T 作 業	44	1,220	146	11.97	
レ ー ザ ー 機 器	39	346	29	8.38	
合 計	488	10,836	1,504	13.88	
1 法定の健康診断					
2 指導勸奨による健康診断	合 計	3,843	49,035	2,645	5.39

第7表

健康管理手帳(労働安全衛生法関係)新規交付状況(過去10年間)

	粉じん(管理2)	粉じん(管理3)	石綿	合 計
平成25年	21	1	15	37
平成26年	1	0	29	30
平成27年	1	0	26	27
平成28年	9	0	25	34
平成29年	1	0	11	12
平成30年	1	0	10	11
平成31年・令和元年	5	1	10	16
令和2年	1	0	14	15
令和3年	0	1	13	14
令和4年	3	1	16	20

※労働安全衛生法関係の健康管理手帳は、「ベンジジン等(ベンジジン、ベータナフチルアミン、ジアニジン)」「じん肺(粉じん)」「クロム酸等」「三酸化砒素」「コールタール」「ビス(クロロメチル)エーテル」「ベリリウム」「ベンゾトリクロリド」「塩化ビニル」「石綿」「1,2-ジクロロプロパン」の業務種類があるが、「じん肺(粉じん)」「石綿」以外の業務種類に係る健康管理手帳について、過去10年間長野労働局において新規交付した実績は無い。

第8表

じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移(過去30年間)

区分 年	じん肺健康診断実施状況			管 理 区 分 決 定 状 況				有所見者数 (B) ①+②+③	有所見率 (B/A×100) (%)
	粉じん作業を 有する 事業場数	粉じん作業 従事労働者数 (人)	じん肺健診 受診者数 (A) (人)	所見なし 管理1	有所見者(人)				
					管理2	管理3	管理4		
					①	②	③		
平成5	1,251	11,027	6,390	37	(35) 675	(29) 38	(4)	(68) 713	11.16
6	1,326	10,684	5,888	(5) 43	(45) 549	(10) 37	(12)	(67) 586	9.95
7	1,426	9,814	5,749	(1) 53	(26) 623	(32) 33	(7)	(65) 656	11.41
8	1,470	9,400	5,161	(3) 45	(23) 420	(23) 27	(4) 1	(50) 448	8.68
9	1,498	10,659	6,292	(2) 47	(35) 435	(45) 29	(17) 0	(97) 464	7.37
10	1,431	10,063	5,601	(6) 13	(44) 378	(23) 26	(8) 1	(75) 405	7.23
11	1,336	9,790	5,321	(2) 28	(47) 374	(20) 19	(3) 0	(70) 393	7.39
12	1,278	9,397	5,220	(7) 14	(72) 359	(33) 21	(7) 1	(112) 381	7.30
13	1,238	9,122	5,261	(3) 4	(25) 245	(24) 15	(7) 0	(56) 260	4.94
14	1,203	8,641	4,743	(13) 15	(59) 227	(23) 10	(4) 1	(86) 238	5.02
15	1,177	9,281	5,291	(9) 23	(58) 140	(16) 8	(3) 0	(77) 148	2.80
16	1,120	8,917	4,892	(15) 28	(42) 122	(12) 8	(6) 0	(60) 130	2.66
17	1,086	8,116	4,644	(26) 9	(49) 99	(14) 4	(4) 0	(67) 103	2.22
18	1,095	9,717	5,008	(15) 13	(45) 100	(11) 5	(8) 0	(64) 105	2.10
19	1,042	7,431	4,276	(12) 3	(75) 88	(11) 3	(4) 0	(90) 91	2.13
20	1,096	10,715	5,635	(9) 8	(35) 93	(2) 4	(4) 2	(41) 99	1.76
21	1,078	7,984	3,807	(11) 5	(48) 65	(11) 4	(3) 0	(62) 69	1.81
22	1,089	9,876	4,610	(6) 2	(30) 49	(9) 3	(3) 0	(42) 52	1.13
23	1,033	8,417	4,448	(6) 4	(29) 50	(11) 4	(4) 0	(44) 54	1.21
24	1,049	9,487	4,490	(2) 1	(22) 33	(10) 1	(4) 1	(36) 35	0.78
25	1,093	9,229	4,514	(4) 1	(20) 39	(6) 1	(1) 1	(27) 41	0.91
26	1,117	9,894	5,034	(6) 2	(19) 21	(8) 2	(1) 1	(28) 24	0.48
27	1,125	10,227	4,880	(9) 0	(16) 20	(6) 4	(3) 1	(25) 25	0.51
28	1,112	10,075	4,547	(4) 2	(14) 14	(6) 3	(4) 1	(24) 18	0.40
29	1,074	8,936	4,657	(4) 2	(14) 16	(9) 3	(3) 0	(26) 19	0.41
30	1,119	10,712	5,033	(7) 3	(6) 6	(1) 1	(2) 0	(9) 7	0.14
令和元	1,121	9,560	4,432	(4) 3	(10) 6	(6) 1	(1) 0	(17) 7	0.16
2	1,140	10,391	5,245	(0) 0	(11) 4	(6) 0	(0) 0	(17) 4	0.08
3	1,185	12,198	5,464	(3) 0	(8) 6	(5) 0	(0) 0	(13) 6	0.11
4	1,241	11,926	5,173	(2) 1	(8) 5	(4) 0	(0) 0	(12) 5	0.10

1. 資料：「じん肺健康診断実施状況」は、「じん肺健康管理実施状況報告」による。  
 2. 管理1は局に提出のあったもので、じん肺診査の結果管理1と決定したものの。  
 3. カッコ書き数字は随時申請で外数である。

## 第9表

### じん肺(要治療)の労災補償状況の推移

業種 \ 年度	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4
製造業	1	1	1	0	4	2	1	0	1	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	4	3	1	2	1	2	0	3	1	1
合計	5	4	2	2	5	4	1	3	2	1

- (注)
- 資料出所：労災補償状況調査
  - 本統計は、各年度にじん肺有所見者のうち管理2、3イ、3ロの合併症及び管理4として業務上の認定を受けたもの。

## 第10表

### 振動障害の労災補償状況の推移

業種 \ 年度	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4
製造業	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	3	2	6	0	0	2	1	6	2	2
農林水産業	0	1	1	1	3	0	0	0	0	1
合計	3	4	7	2	3	2	1	6	3	3

- (注)
- 資料出所：労災補償状況調査
  - 本統計は、各年度に振動障害として業務上の認定を受けたもの。

第11表

最近の自殺者数の推移

年	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4
長野県	439	480	415	393	352	351	357	353	337	357
職業別 内数 被雇用者・勤め人	109	154	140	119	133	128	138	125	119	156※
原因・動機別 内数 勤務問題	42	55	72	49	36	39	53	32	32	57

資料出所:警察庁生活安全局生活安全企画課

※本統計は、自殺の発生地における計上であり、自殺者の居住地とは異なる。

※令和4年における「被雇用者・勤め人」の欄の人数は「有職者」を示している。

第12表

脳・心臓疾患の労災補償状況の推移

年度	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	
認定件数 (長野)	脳・心臓疾患	0	3	5	3	3	3	5	2	2	5
	うち死亡	0	2	2	1	1	1	2	1	1	3
請求件数(長野)	5	10	6	11	13	16	13	8	13	8	
認定件数(全国)	306	277	251	260	253	238	216	194	172	194	

注:認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

第13表

精神障害の労災補償状況の推移

年度	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	
認定件数 (長野)	精神障害	9	5	3	9	9	11	13	10	9	11
	うち自殺(未遂含む)	3	1	2	2	4	1	4	1	3	3
請求件数(長野)	18	19	25	22	26	29	34	28	25	31	
認定件数(全国)	436	497	472	498	506	465	509	608	629	710	

注:認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

第14表

石綿関連疾患の労災補償状況の推移

年度	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4
認定件数(長野)	8	9	5	8	15	12	17	7	7	12
うち肺がん	1	1	3	3	3	3	7	3	3	2
うち中皮腫	4	7	2	4	11	5	7	4	3	8

注:令和4年度は速報値

注:認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

注:石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族給付金を含む。

第15表

令和4年心理的な負担の程度を把握するための検査  
(いわゆるストレスチェック)実施状況

区分 業種	検査実施 事業場数	検査を受けた労働者数 (人)				面接指導を受けた労働者数 (人)				集団分析の実施 の有無	
		検査実施者			合 計	指導実施者			合 計	分析あり 事業場数	分析なし 事業場数
		専任産業医等	専属医師等	非専属医師等		専任産業医等	専属医師等	非専属医師等			
製造業	702	48,741	8,506	36,620	93,867	652	13	53	718	591	111
建設業	64	2,407	279	3,010	5,696	10	1	53	64	51	13
運輸・ 貨物取扱業	110	2,411	2,051	3,876	8,338	26	0	8	34	87	23
その他の 業種	906	40,939	9,808	21,042	71,789	265	21	67	353	819	87
合 計	1,782	94,498	20,644	64,548	179,690	953	35	181	1,169	1,548	234
全 国	114,062	7,140,676	1,103,765	4,521,658	12,766,099	49,308	2,767	7,087	59,162	99,324	14,738

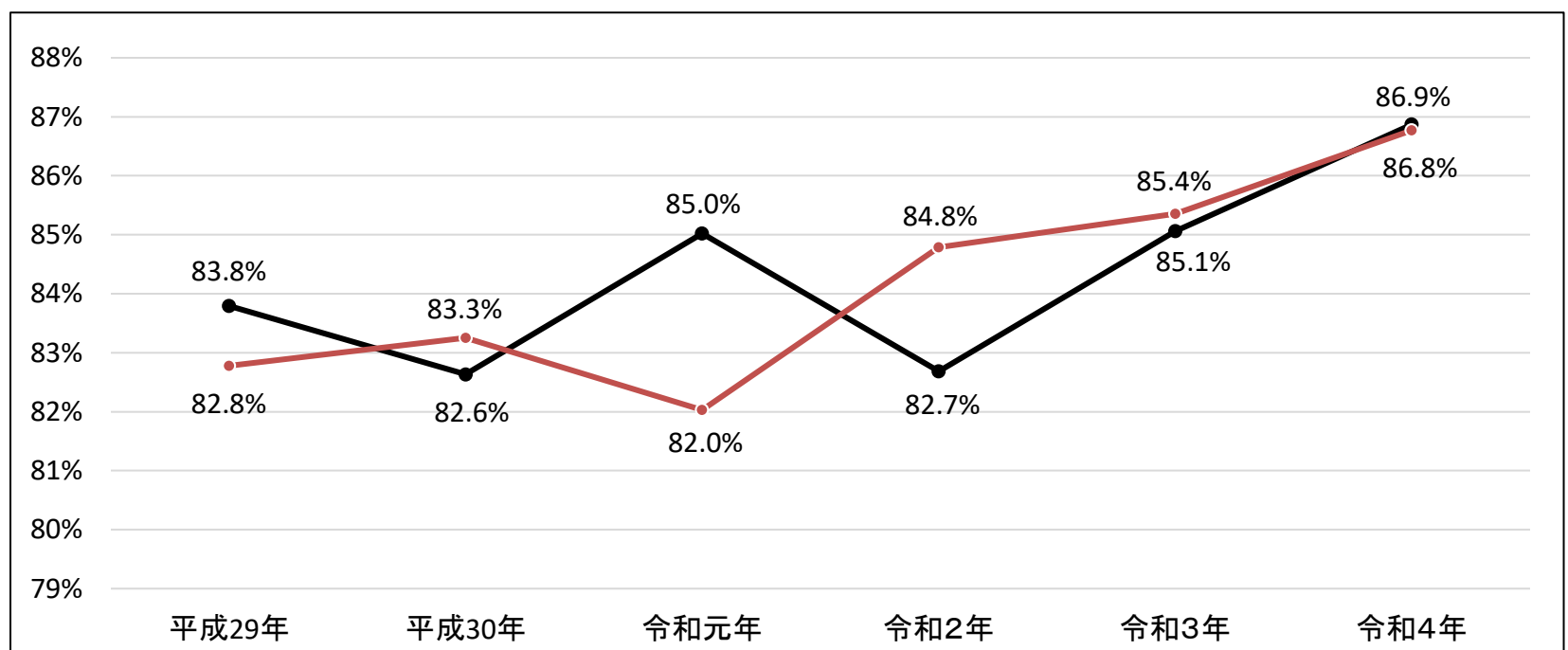
(注) 資料：心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。規模50人未満の事業場実施分も含む。

第16表・第3図

長野県におけるストレスチェック集団分析実施事業場割合の推移

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
検査実施事業場数	全体	2178	2240	1963	2021	1714	1782
	50人以上	1736	1869	1942	1696	1502	1542
集団分析あり事業場数	全体	1825	1851	1669	1671	1458	1548
	50人以上	1437	1556	1593	1438	1282	1338
集団分析実施事業場 割合 %	全体	83.8%	82.6%	85.0%	82.7%	85.1%	86.9%
	50人以上	82.8%	83.3%	82.0%	84.8%	85.4%	86.8%

(注)：資料：心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。それぞれ上欄は規模50人未満の事業場実施分も含み、下欄は規模50人以上の事業場の状況(事業場数は下欄は上欄の内数)。





第17表

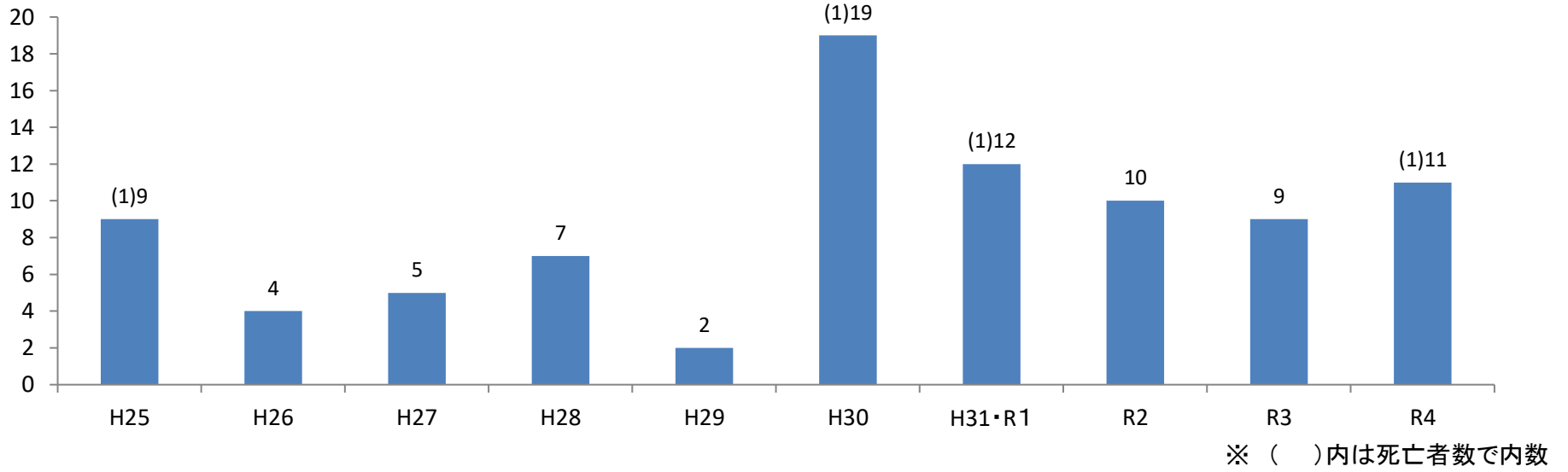
令和4年 工業中毒等特殊疾病事例

整理番号	発生日	業種	災害発生状況の概要
1	1月	製造業	水酸化ナトリウムをめっきの処理槽に補給して薬品の空袋を片付けようとしたところ、袋についていた粉が飛んで右目に入ったもの。
2	1月	その他の事業	中和廃液を中和槽から水中ポンプにて移送中に移送用ホースが水中ポンプから離脱して同液が飛散し、飛散した同液が被災者にかかったもの(2人被災)。
3	2月	建設業	建屋の解体工事において、ジクロロメタン含有の剥離剤により塗膜の除去作業(かき落とし作業)を行っていたところ、作業員2名が倒れたもの(2人被災)。
4	5月	製造業	黒染め(フェルマイト)作業において、クレーンを用いて製品を薬液槽に下した際にアルカリ性薬剤(水酸化ナトリウム、亜硝酸ナトリウム、リン酸三ナトリウム・12水)が顔面に飛散したもの。
5	5月	産業廃棄物処理業	ゴミ焼却炉において、引継ぎ業務(機械状況確認)を行うために、焼却炉付近(ピット上部)に30分程度滞在し、作業終了後操作室に戻って操作業務を行っていたところ、30分程度経ち頭痛及び痙攣を発症したもの。
6	5月	製造業	硝酸の入ったバケツを移送した際に転倒してバケツを床に落としたところ、バケツが落ちた衝撃で硝酸が飛び跳ねて肘、膝等の作業着に付着したものの。
7	7月	製造業	レトルト食品製造設備の洗浄作業中、設備にかけ流したアルカリ洗浄液が左足長靴内に入り、化学熱傷を負ったもの。
8	7月	製造業	めっき液の建浴作業中に、器具を用いて硫酸の計量を行い、めっき液に投入する前に、プラスチック製パレットの上に器具一を置こうとしたところ、硫酸がはねて、体に付着したものの。
9	8月	製造業	水酸化ナトリウム溶液の混合中、苛性ソーダを一気に投入したために溶液が突沸し、溶液を頭部から全身に浴びたもの。
10	8月	製造業	コンテナに溶剤を入れてウエスで清掃中、汚れた溶剤を捨てに行く際、コンテナの底が針金に引っかかってしまい無理に外そうと持ち上げたところ、勢いよくコンテナが外れた反動で溶剤が被災者にかかったもの。
11	8月	旅館業	大浴場機械室入口において、塩素タンクコックの液垂れ防止キャップを取る際、次亜塩素酸ナトリウムが跳ねて左目に入ったもの。
12	8月	製造業	フィルターハウジングから硫酸がもれる装置トラブルが発生し、フィルターの交換作業をしていたところ、バランスを崩し尻もちをつき、当該装置の上に10パーセント硫酸が付着していたため、臀部に薬傷を負ったもの。
13	8月	製造業	業務に使用する桶を洗浄する作業を行う際に、中性洗剤の原液の入ったノズルプッシュ型の容器から、洗剤を出そうとしたところ、ノズルが被災者側に向いており、目にかかったもの。
14	10月	卸売業	苛性ソーダの納入作業において、納入先のタンクのフランジに車両のメインホースの接続をしようとしたところ、タンクのバルブに被災者の腕が接触し、バルブが開き、配管に残留していた苛性ソーダ数リットルが被災者にかかったもの。
15	11月	製造業	洗浄槽の塩素濃度が低下したため次亜塩素酸ナトリウムを追加しようとしたが、誤って塩酸を洗浄機に投入したため塩素ガスが発生し、工場内に拡散したもの(2人被災)。

休業4日未満を含む

# 第18表・第4図 長野県内における熱中症による労働災害発生状況

熱中症による労働災害発生状況の推移(休業4日以上、単位:人)



## ■ 熱中症の業種別・年別発生状況(休業4日以上、単位:人)

業種	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	合計
製造業	2	1	(1)3	1			3	2	1		(1)13
建設業	(1)2	2		5		5		1	1	3	(1)19
道路貨物運送業			1	1	1	2			2	2	9
林業							1				1
商業	2					(1)2	1	1		(1)2	(1)8
飲食店											0
ビルメンテナンス業							1	1		1	3
警備業	2				1	5	(1)1	1	1	1	(1)12
その他	1	1	1			5	5	4	4	2	23
合計	(1)9	4	(1)5	7	2	(1)19	(1)12	10	9	(1)11	(5)88

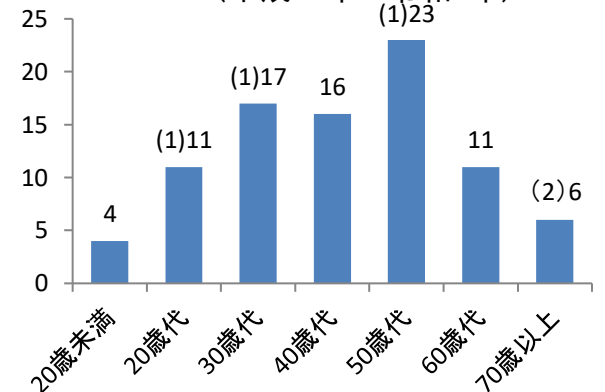
※ ( )内は死亡者数で内数

## ■ 熱中症の被災者年代別発生状況(平成25年～令和4年)

被災者年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
熱中症(人)	4	(1)11	(1)17	16	(1)23	11	(2)6	(5)88

※ ( )内は死亡者数で内数

熱中症の被災者年代別発生状況(平成25年～令和4年)

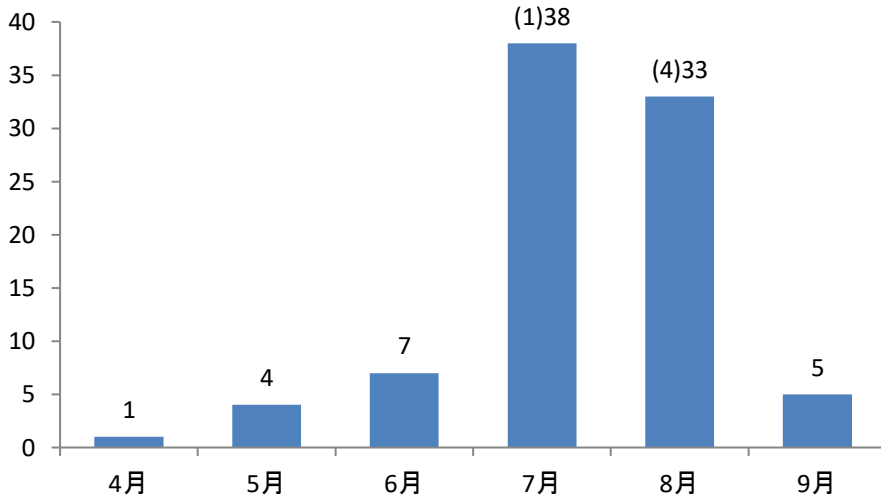


## ■ 熱中症の月別発生状況(平成25年～令和4年)

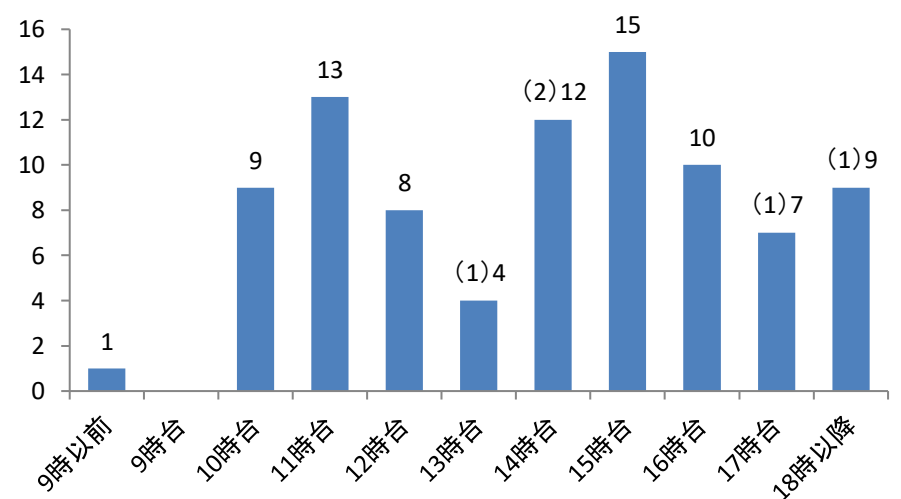
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
熱中症(人)	1	4	7	(1)38	(4)33	5	(5)88

※ ( )内は死亡者数で内数

熱中症の月別発生状況(平成25年～令和4年)



熱中症の時間帯別発生状況(平成25年～令和4年)



## ■ 熱中症の時間帯別発生状況(平成25年～令和4年)

時間帯	9時以前	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	合計
熱中症(人)	1		9	13	8	(1)4	(2)12	15	10	(1)7	(1)9	(5)88

※ ( )内は死亡者数で内数

データ出所: 各翌年4月の厚生労働省指定とりまとめ日までに提出のあった労働者死傷病報告を長野労働局労働基準部健康安全課が集計・分析したもの

■ 熱中症による死亡災害事例

発生年・業種	発生状況の概要
平成25年 建設業	墓地のリフォーム作業中(玉砂利部分を石貼りに変更する工事)、石貼り作業に従事していた被災者が石柵(高さ52cm)にもたれ込んでいるのを工事担当者が発見し、消防署へ通報し、病院へ搬送されたが死亡したものの。
平成27年 製造業	食品残渣等廃棄物から有機肥料を製造する事業場において、廃棄物の入ったフレコンバックを車両積載形トラッククレーンの荷台から下ろす作業を行っていた被災者が意識を失い倒れた。
平成30年 商業	真夏の屋外で露店を営業するため、午前中から調理器具の準備や仕込等の作業を行い、また、同所において、夕方からの営業で接客等の作業を行い熱中症を発症した。
令和元年 警備業	道路上で交通誘導業務を行っていたところ、熱中症を発症した。
令和4年 商業	顧客企業の農業用ハウス内において14時頃から被災者一人で自動カーテンのワイヤー交換作業を行っていたところ、意識を失い倒れた。17時頃に顧客関係者に発見され、救急搬送されたが、熱中症疑いで死亡が確認された。

■ 熱中症による死亡災害事例(参考:長野県内への出張中の労働者にかかるもの)

発生年・業種	発生状況の概要
令和3年 商業	屋根に設置された太陽光パネルの点検清掃作業等を行っていたところ、倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが死亡したものの。

■ 熱中症による主な休業災害事例(平成25年～令和4年)

業種	発生状況の概要
製造業	エアコンが稼働している工場内において、電気配線の組立作業を行っていたが、室温が30度ほどになり、午後3時ころから頭痛、吐き気の症状が発生し、終業後も体調が戻らないため、病院を受診した。
製造業	製造ラインで部品を取り付ける作業を屈んで行っていたところ、座り込み、そのまま倒れた。意識を失い、けいれんが発生していたため救急車で搬送された。
製造業	製造ライン(めっき槽)のメンテナンス作業中、合羽、マスクを装着し作業を行っていたところ、手指の痙攣が発生し、病院を受診した。
建設業	個人住宅の現場において、基礎周りを70cm程度手掘りで掘削していたところ、めまいや吐き気が出て、仕事が出来なくなった。
建設業	建築工事現場において、型枠組み立て作業に従事し、休憩の際、水分を摂取しようとしたが嘔吐し、手足のしびれが発生し、その後、全身の痙攣が始まったため、救急車で病院へ搬送された。
建設業	住宅基礎工事現場において、コンクリート圧送作業に従事していたところ、手足のしびれとめまいのため、動けなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	構内で仕分け作業中、体調が悪くなり、休憩をとっていたが、立ち上がることができなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	客先構内で集荷業務を行っていた際、全身が痙攣し、動けなくなったため、救急車で病院へ搬送された。
林業	草刈作業中に、草を集める作業を行っていたところ、具合が悪くなり座り込んだ。その後入院となった。
ビルメンテナンス業	ホテルの客室清掃作業中、水分補給が不足していたため、ホテルフロア内にて具合が悪くなり自力で歩けなくなったことから、救急車により病院へ搬送された。
保健衛生業	保育園敷地内の屋外プールの清掃作業中、吐き気がし、屋内にて休んでいたものの体調が回復しなかったため、病院を受診した。
保健衛生業 (派遣業)	派遣先の病院にて勤務中、浴室で患者の入浴介助中、患者の腕を支えようとした際、足に力が入らなくなり、座り込んでしまった。応急処置をしたが、改善がないため、救急車で病院に搬送された。
公園・遊園地	炎天下でグラウンドの散水作業中、長時間の作業後、頭痛を訴え、嘔吐した。
警備業	警備業務中、他の従業員から様子がおかしいとの連絡が入り、当人へ連絡したところ、呂律が回らず、休憩を取らせたが、回復がなかったため、救急車で病院に搬送された。
警備業	交通誘導業務を行っていたところ、頭痛を発症し、我慢して業務を継続し、帰宅後、頭痛が悪化し、嘔吐と下痢を発症し、動けなくなったため、病院を受診した。